

# パンタナール通信

一般社団法人 南北米福地開発協会 会報 2020年6月1日 201号  
世界平和地球村の建設と自然環境の保護

## レダの若きパイオニア

滝川哲盤(たきかわのりやす)君



左よりファン・ソーサ君、シンドゥルフォ君、滝川君。

私が最近意識するようになります。私が最近意識するようになりますが、必要な物品は大抵揃っていますが、物資やインフラの整わないこの地では、手元にあるものをいかに有効利用していくかが鍵になります。

私は最近意識するようになりますが、必要な物品は大抵揃っていますが、物資やインフラの整わないこの地では、手元にあるものをいかに有効利用していくかが鍵になります。

約五年前、見渡すかぎりの緑の大地を眺めながら、セスナ機で降り立った時の感動と高揚感は今でも覚えています。そして今回ご縁があり、再びレダに来ることができたことを嬉しく思います。私がレダに来て最初の仕事は、パクーの孵化（種苗生産）でした。その後、上山先生が日本に一時帰国されたため、現在はパクーナンテナンス等々を担当しています。現在二人のチャマココ族の従業員と共に仕事をしているのですが、特に古参のファン・ソーサやクリスティーノとは多くの時間を共にしました。彼らからは自然界の動植物に関すること、また魚の習性や生息地、ヤシの実の採り方から漁具の修繕まで、あらゆることを教えてもらいました。私のほうが彼らから学ぶことがとても多い日々です。

現場では絶えずさまざまな問題が起こります。豪雨による池の増水、池の水が土手を貫いて流れたりと、モグラたたきのように新しい問題が出現してきます。パクーの養殖池に1000匹以上の大量のピラニアの稚魚が入り込んでいることが分かったときは特に驚きました。その時は従業員総出でピラニアの駆除をしたのですが、まるで釣り大会をしているようでした。

レダで活動する上で最も苦心するのは、物資の調達が難しいことです。日本ではホームセンターに行けば、必要な物品は大抵揃っていますが、物資やインフラの整わないこの地では、手元にあるものをいかに有効利用していくかが鍵になります。

思ったことはなるべく早い段階で実行してみる

## レダ基地スナップ



エビの取り出し作業 5月4日



真の母の木



パクーの稚魚を取り出す作業。4月15日



青木氏(左)を見送る。5月3日



エビを観察する川久保君。4月16日



アキダバンで手の消毒。4月17日



図師氏(右)と助手のハコボ君。5月5日



4月12日



取り出したエビを計測。5月4日



竹内君(左)と江頭君。4月16日



モリンガの苗を植える豊村氏。4月10日



左:大きなカボチャ、高さ30cm。  
右:公館の花壇に来たイグアナ。





## 花の宝庫へのいざない(1)



*Portulaca fluvialis* スベリヒユ科

生きものと言えば、動物と植物。パンタナールは植物の王国でもある。皆様が当地を訪れるとき、運・不運と関係なく出遭うことがでるのは、野生動物よりも、むしろ野生植物紹介したが、今回は花を少しだけ紹介しよう。

植物は圧倒的に多いはず。本紙187号で「パンタナールの逞しい樹木」の主なものを紹介したが、植物は近づいても逃げない。見つけた植物は至近距離で観察し、撮影することができる。パンタナールは花の宝庫。歩き回れば歩き回るほど多くの花と出遭う。足を止め、見つめ、魅せられ、花と知り合いになる。こうして「出遭い」から「出会い」へと発展する。

植物を好きな人は、パンタナールで至福の時を過ごせるだろう。できればチャコの植物図鑑を入手することをお奨めするが、とりあえず学名を手掛かりに検索し、形態や生態をオンライン学習してみられてはいかがだろう?



*Talinum triangulare* ハゼラン科



*Aspilia latissima* キク科



*Centrosema brasiliyanum* マメ科



*Lippia alba* クマツヅラ科



*Hibiscus furcellatus* アオイ科



*Commelina cf. nudiflora* ツユクサ科



*Pavonia sidifolia* アオイ科

*Ipomoea alba* ヒルガオ科



*Passiflora foetida* トケイソウ科



*Ipomoea rubens* ヒルガオ科



*Cissus spinosa* ブドウ科

*Passiflora foetida* トケイソウ科

*Ipomoea rubens* ヒルガオ科

(一面より続く) 養殖の仕事の中で、池周りの除草作業があるのですが、まるで島のように塊になつた水草を除去するのは骨が折れます。何よりも暑さとの戦いになるので、なかなか腰が上がりません。しかし、常に池周りをきれいにしなくては水質の悪化につながり、毒ヘビやワニも住みつけます。

このようない單純労働で厳しい仕事ですが、チャマココの従業員と苦労を共有することを実感します。片言のスペイン語しか喋れない私ですが、苦労を共有することでお互いの関係を築けることを実感します。